

近畿ブロックアカデミー委員会モットー

(海軍士官のモットーより)



スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂これぞ船乗り

頭より船を早く走らすな

自分のイメージの範囲で事業を進めよ。

海の上に待たなし

先・先を読んで行動しないと、次の一手が手早く打てない

青年士官は青天井—Always on Deck—

常に現場に出て現場を把握せよ。

同じ航路も初航路

常に新鮮な気持ちでやれ。

カーム(CALM=静穏な天候)に衝突、月夜に座礁

安心が事故のもと。

大船たりとも恐れず、小舟たりとも侮らず

物事何でも、真剣に！！

私情を捨てよ舷梯で

会社に一步入ったら女のことは忘れろ。

多少の貯え身だしなみ

大事の時に恥をかくな。寸借は品性を疑われる。

左警戒 右見張れ

「左警戒」の号令がかかったら、右も見よ。一面だけを見るな。

モラルの根源「士官室」、元気の根源「士官次室」

「士官室」は佐官と大尉クラス、「士官次室」は若い中・少尉

タラップは駆け足で

狭くて人通りの多いところは迅速に。

メモを手放すな

「忘れました」は理由にならない。

言い訳するな

誰でも言い訳の材料はある。それによって責任は免れない。

ユーモアは一服の清涼剤

ユーモアのないところに人間関係は生まれない。

五分前にはスタンバイ

「配置ヨシ」。準備は事前に余裕をもって全て完了。「五分前精神」。

風に立て

嵐の時には風に向かえ。それが船を転覆させないコツ。困難に向かって進め。

個艦戦力の最大発揮

各自がベストを尽くす。その総力が戦力。

戦機に投ぜよ

戦機はいつも転がっているわけではない。戦機を待て。そして戦機を逸せず果敢な手をうて。

ダロウ手を打つな

「だいたいこうなるダロウ」「大丈夫ダロー」でやったことが、かえって状況を困難する。

我が全力を以て敵の分力を撃て

五対五の戦力で闘えば相討ちが理屈である。敵を三と二に分断して、まず五対二で全滅させ、次に残る三をやっつける。

攻撃終末点を的確につかめ

作戦のゴールを決めない戦闘は愚劣な結果となる。ところがそれにストッパーを更に一つかければ、ストッパーの端をつまむだけですむ。

”ダラリ”追放

ムダ・ムラ・ムリをなくせ。

勝つと思うな、負けじと思え

功に目を向けるな。「負けじ根性、これぞ船乗り」

靴のカカトをよく磨け

艦内では、履いたまま靴を磨く。だからカカトの汚れが残りやすい。自分の気づかない点が人には目に付く。